

議会

会



私の街こまつ

Vol.189

2019.2

だより

Contents

12月定例会	2
議決結果	3
市政Q&A 代表質問・一般質問	4
常任委員会 審査報告	12
特別委員会 調査報告	15

12月議会

補正予算6億4,262万7千円を可決



小松市立高等学校 前期生徒会役員の皆さん
(小松市議会議場にて撮影)

※2ページに関連記事を掲載しています

12月 定例会

会期 11月29日～12月21日

11月29日 開会

市長提出議案

予算案

6件

条例案

6件

その他の議案

3件

12月7日 代表質問(2人)

10日 一般質問(7人)

11日 一般質問(5人)

17日 各常任委員会(分科会)

18日 特別委員会

19日 予算決算常任委員会

21日 閉会

市長提出追加議案 2件

議案等の採決(P3参照)

予算案をチェック

市長から提案のあった予算案については、予算決算常任委員会で審査されました。(P13参照)
主な提案内容を紹介します。(P12参照)

平成30年度12月補正予算

一般会計	補正額	6億512万7千円
特別会計	補正額	4,290万円
企業会計	補正額	△540万円

一般会計の累計

471億3,135万7千円

全会計の累計

1,021億1,428万3千円

条例案等をチェック

市長から提案のあった条例案やその他の議案については、各常任委員会で審議されました。(P14～15参照)

人事案件

教育委員会委員

勝木 克子 氏 (殿町)

人権擁護委員

吉田 茂 氏 (矢田町)

鴻渡 幸子 氏 (今江町)

尾野寺 多美子 氏 (串町)

の任命・推薦に同意しました。

本会議の討論

川崎議員から議案第83号に対し反対討論が、また、高野議員から議案第83号への賛成討論が、橋本議員から議案第77号、第83号、第84号、第88号、第89号に対し反対討論がありました。

議会だより編集委員と高校生との意見交換会を開催しました

9月27日に小松市立高校の前期生徒会役員が小松市議会を訪れ、議会だより編集委員会委員と意見交換を行いました。どんな議会だよりなら自分も読んでみようと思うかという観点で、生徒の皆さんから色々と意見をいただきました。今後の紙面作りに活かしていきます。



高校生からの主な意見・提案

- 予算を円グラフなどで示したらわかりやすくなる。
- 議会だよりの掲載内容でクイズを作ってはどうか。
- わかりにくい言葉には説明書きを。
- 文字ばかりで読みづらいので漫画を入れたらどうか。
- 間隔をあけると見やすくなると思う。
- 読みたくなるように表紙や見出しに工夫を。

◆12月定例会の議決結果◆

■全会一致で可決・同意された議案

	議案名	議決結果
予算案 (5件)	第78号 平成30年度小松市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
	第79号 平成30年度小松市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	//
	第80号 平成30年度小松市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	//
	第81号 平成30年度小松市水道事業会計補正予算(第1号)	//
	第82号 平成30年度小松市下水道事業会計補正予算(第2号)	//
条例案 (3件)	第85号 小松市開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例について	//
	第86号 小松市空き家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例について	//
	第87号 小松市病院事業の設置並びに管理条例の一部を改正する条例について	//
その他の議案 (2件)	第90号 財産の処分について	//
	第91号 指定管理者の指定について	//
市長提出追加議案 (1件)	第92号 教育委員会委員の任命について	同意
その他案件 (1件)	諮問 第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	//

■賛否が分かれた議案

○は賛成 ×は反対 退は退席 欠は欠席

議案名	会派自民								自民党こまつ				無党派				議決結果				
	浅野清利	灰田昌典	北出隆一	表靖二	高野哲郎	吉本慎太郎	梅田利和	新田寛之	南藤陽一	宮西健吉	川崎順次	二木攻	吉村範明	井田秀喜	杉林憲治	橋本米子		出戸清克	片山瞬次郎	浅村起嘉	木下裕介
予算案 (1件)	第77号 平成30年度小松市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
条例案 (3件)	第83号 小松市はつらつとした地域とひとづくりの推進に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	//
	第84号 小松市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	//
	第88号 小松市立保育所条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	//
その他の議案 (1件)	第89号 財産の譲渡について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	//

※宮川吉男議長、出戸清克副議長は小松市議会運営規約第4条に基づき、会派に所属していません。

※宮川吉男議長は採決には加わりません。

JR栗津駅の東西間自由通路について

◆平成31年度予算編成方針について

Q 収支の見通しについては。

A 市税については30年度当初予算に比べ約6億円増の168億円を見込んでいます。増加している地方消費税交付金も含め、市税を大切に使用していきたい。歳出では職員人件費・公債費・社会保障関連や消費税増による工事請負費・委託料・光熱水費の歳出増が見込まれる。

Q 市債残高について、10年間200億円削減の公約があるが、次なる市債残高縮減目標は。

A 全会計市債残高ピークは平成21年度の1434億円。8年間で204億円減らし、国から地方への借金としての臨時財政対策債を除けば、現在の市債残高は1000億円強となる。2025年までに1000億円を切ることをNEXT10年ビジョンの旗印にしている。

◆JR栗津駅関連について

Q 北陸新幹線の小松開業をひかえ公立小松大学の開学、土地区画整理事業等の完成、栗津駅の東西間を連結し、栗津駅の機能を強化する必要があると考えるが、見解は。

A 栗津駅は南部地区の中核的な交通拠点であり、ものづくりの企業や小松大学栗津キャンパス、重要文化財の古墳などもあり、栗

津駅の強化として、東西間をつなぐ連絡通路の整備も必要である。

Q 併せて、駅西口広場、駅西遊休地の有効利用等も必要となってくるが。

A 遊休地については、所管の財務省等と現在交渉している。

◆小松市はつらつとした地域とひとづくりの推進に関する条例について(地域協議会について)

Q 地域協議会制度は、少子高齢化が進行し、地域の活力が失われつつある中で、再び地域に活力を与える画期的な制度であると考えられる。国の提唱する地域運営組織の考え方、並びに市がいかなる形で関与するのか。

A 総務省において、必須事項ではないが、小学校区を地域運営組織の一つの単位と



栗津駅駅舎



してはどうかと考えている。住民自身が当事者意識を持って、持続的な運営を可能にする組織体制づくりが重要と方針を示している。市としてはこれまでの施策を磨き上げ、地域の自主性を尊重し、地域がみずから考え、改善し、学ぶ市政をつくっていくことが大事と考える。

◆下水道事業の包括的委託について

Q 下水道事業の包括的委託について、現行の委託料に比してVFM(バリュー・フォー・マネー)についてマイナス8%を指すとされているが、一連の発注作業の経過及びその成果は。

A 単年度契約から複数年度契約にし、30年10月30日に優先交渉権者が決定した。31年4月1日から3年間の包括契約をする。現在の委託料・その他経費が8億6250万円。8%減の7億9千万円ほどを見込んでいたが、最終契約金額は25%減の約6億4650万円となった。委託により事務的負担が軽減された分、職員研修などにより技術力強化につなげていきたい。